

## 背景と課題

伐採後の再造林は、スマート林業プロジェクトによる素材生産量の倍増に向けて欠かせないものであるが、植栽後のシカによる苗木の食害が大きな課題となっている。

## 研究の目的

再造林地で植栽木を防除するための捕獲を実施した際の効果について検証する。

## 研究の内容および成果

徳島県三好市の造林地（約100ha）内でH28からR1の4年間で136頭のシカを捕獲した（表1）。捕獲実施前後で植栽木の被害について調査した結果、捕獲地内では捕獲前に比べて捕獲後の植栽木シカ被害率は軽減した（表2、図1）。一方、捕獲地から500mほど離れた同時期の造林地ではシカ被害率が高かった。そのため、捕獲に被害軽減効果は期待できるが、その効果の範囲は限定的であることから、守りたい箇所での捕獲を実施することが効果的であると考えられる。

表1. 捕獲頭数と捕獲効率

ワナ番号	H28 捕獲数	H29 捕獲数	H30 捕獲数	R1 捕獲数	H28 CPUE	H29 CPUE	H30 CPUE	R1 CPUE
h00	5				0.030			
h00'	3	6	2	3	0.033	0.025	0.012	0.013
h01	4	4			0.022	0.036		
h01'		5	5	5		0.060	0.029	0.021
h02	10	3			0.052	0.023		
h02'		3	4	7		0.097	0.023	0.029
h03	2				0.021			
h03'	1	4	3	4	0.010	0.015	0.017	0.024
h04	2				0.043			
h04'	2	3	4		0.017	0.016	0.023	
h04''				1				0.006
h05	3				0.024			
h05'	0	1			0.000	0.010		
h05''		4	5	3		0.020	0.029	0.013
h06	5		2				0.014	
くくりワナ	10	10	6	2	0.033	0.008	0.021	
年度合計値	37	43	31	25	0.030	0.026	0.016	0.018

CPUE: Catch Per Unit Effort【捕獲効率(捕獲数/ワナ稼働日数)】

表2. 捕獲実施前後の植栽木被害

	調査 実施時期	調査 本数	生存 本数	生存率 %	シカ 新食痕 本数	シカ 被害率 %	平均樹高 (cm)
捕獲地	2017.1月	55	52	95%	32	62%	208
捕獲地	2018.10月	55	37	67%	4	11%	272
捕獲地	2019.11月	55	37	67%	2	5%	355
捕獲地外							
500m離れた 同時期造林地	2019.11月	43	38	88%	33	87%	206



図1. 捕獲前後の再造林地